



学校法人永原学園
さんこう
児童クラブ通信

令和4年7月発行
— 第2号 —

【三光幼稚園】
TEL：0952-31-0753
【さんこう児童クラブ携帯】
TEL：090-7430-1312

パワーアップ！

開所から3カ月が経ち、下校後に過ごすさんこう児童クラブの生活にも慣れ、こども達はパワーアップしています。時々、訪れてみると、宿題を済ませるや否や、思い思いの遊びを楽しんだり、外に出て、キャンパスのグラウンドを、縦横無尽にボールを蹴りかけ回ったり、最近では綱引き等にも広がっています。「何かほしい道具ある？」と、尋ねると、次々にリクエストが来ています(^.^。)が、予算とにらめっこしながら、希望に添えるよう少しずつ揃えていきたいと思えます。

現在、夏休みの計画が進行中です。西九大の学生さんと教員の方々の応援を頂いて、多様な経験と楽しい時間が過ごせるよう願っています。

7月のおたのしみ

<七夕製作>

- 戸外活動（リレー・長縄、綱引きなど）
- アサガオ壁面づくり等



※さんこう児童クラブのスタッフとして、藤戸先生が着任されました。教免所持者です。

7月の学童児童数

	6月末 在籍数	7月 新規人数	7月初日 人数
1年生	10	1	11
2年生	2	0	2
3年生	0	0	0
計	12	1	13

7月の目標「使った物を片付ける」

児童の様子

気温が高い日が続く中、子ども達は毎日元気に戸外で色々な遊びを楽しんで過ごしました(#^#)

「外で鬼ごっこしよう！」「かけっこしたいな～」と毎日遊びの提案をしてくれます。最近はロープを使った遊びに興味をもち、戸外で綱引きをしたり、室内ではロープを渡ってえいご鬼を楽しむ姿が見られています♪

えいご鬼ではチームを作る時もみんなで話し合い、「9人しかいないから先生も入ってくれる？」

「1列に並んで右と左で分けてみたら？」と、色々なアイデアを出しながら考えていきました！

綱引きをする時はチームを決め、1度ゲームをした後に「ちょっとむこうのチームが強すぎたからメンバー入れ替えよう。」とチームのバランスを考えて決め合う姿が見られます♪最初は仲の良い人同士で組もうとすることが多かったのですが、遊びの中で少しずつ仲が深まり、色々な友達とチームを組もうとする気持ちももてるようになっていっているように感じました(^.^)

これからはもっと気温が上昇し、なかなか戸外での活動ができない日が続いていきますが、気温を見て、水分補給をしながら少しでも戸外で楽しく過ごせる時間を取り入れていきたいと思えます☆



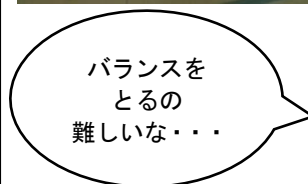
まけないぞ～



ひっばれ～！



じゃんけん
ぽん！



バランスをとるの
難しいな・・・



あそびから学ぶ子育て

育児は育自 ～子どもと共に自分も育つ～

西九州大学看護学部

教授 上野 恭子

真実につながる「物語」と題して京都大学(前)総長で霊長類学者の山極寿一氏は2018年11月10日の朝日新聞に投稿されその内容は、『人類の祖先が700万年前に広く分散して食べ物を探さなければならなくなった。人間が言葉を獲得するはるか前、物語を使って世界を広げる必要があった。人間だけが物(食物)を仲間の下に持ち帰り、それを共有(共食)した。さらに大きな役割を果たしたのが道具でそれは物語を用いて使われる状況と機能を仲間に伝えた。集団生活で仲間を信頼し共感し、未知への挑戦から新しい物語が求め180万年前初めてアフリカ大陸を出た。やがて言葉が生まれ、物や道具を使わず状況を簡潔に伝える能力を手にした。』と述べてある。継承者である子どもの普段の生活は基本的な生活習慣の獲得から始まる。その生活の中に遊びが存在する。子どもにとっては、遊びは楽しさや喜びを伴った自発的で自由な活動である。自分の心身能力や態度を無意識のうちに発達させている。

生活の中で遊びをどのように考えていますか？ 親がともに遊ぶ・楽しく・ワクワクしながら、楽しいと思えば遊びは成功、その体験は5感を使って学び・成長しています。

遊びの効果

1. 集団遊び：「社会性・コミュニケーション」を育む

- 幼児前期「いない いないバア」⇒ 基本的信頼関係・基本的不信感
- 幼児後期から学童期は、親・子・仲間との信頼関係の構築に関係する⇒ 自立感から 積極性から 恥・疑惑・罪悪感など

2. 親子手遊び⇒母子相互作用を深める

- 微細運動の発達を促すとともに親子共同作業効果、

3. 絵本読み：幼児前期・幼児後期⇒記憶力は生後6～7ヶ月頃より発達、10ヶ月では1分後記憶し思考。言語的思考も始まる。

- 読み手である母親の脳：前頭前野が活発に働く
- 聞き手である子ども脳：大脳辺縁系が活発に働く

* 前頭前野は思考や創造力、コミュニケーション、感情のコントロール、大脳辺縁系は喜怒哀楽を生み出し、その感情に基づいて基本的な行動を決めている部分

4. 子どもの成長発達の原則を知っておこう

- 方向性：頭部から尾部、身体の中枢部から末梢部、粗大運動から微細運動
- 順序性：定頸⇒寝返り⇒座位⇒這う⇒つかまり立ち⇒独歩。

注視⇒手で遊ぶ⇒玩具で遊ぶ⇒人と遊ぶ

* 発達には連続性があるとともに速度の多様性がある

遊ぼう、本を読み、読み聞かせ、ともに育とう